

第4学年 総合的な学習の時間（人権）学習指導案

1 主 題 考えよう！相手の気持ち ～身近な人との交流を通して～

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

○相手の気持ちを考えて、互いに認め合うことの大切さを理解できるようにする。

○身近な人との交流を通して、人々の思いや願いについて、自らの生活と重ね合わせ考えることができるようにする。

○友だちの思いや考えをしっかりと聞く力や、自分の思いや考えを伝える力を育てる。

4 指導計画（別紙）

5 本時の学習

（1）目 標

「〇〇園」のおじいちゃんやおばあちゃんの喜びや苦労を理解するとともに、思いや願いに共感しようとする態度を育てる。

（2）普遍的な学習のテーマ 共に生きる

個別人権課題名 高齢者

（3）展 開

学習活動と予想される子どもの意識の流れ	指導上の留意点
1 これまでの学習を振り返る。	○ 本時の学習への意欲づけ、方向づけをする。
2 「〇〇園」の入所者の方の、生活の中での喜びや苦労は何かを考える。 ・おじいちゃんおばあちゃんが楽しめるような、道具があったよ。 ・食事のメニューは美味しそうだったよ。 ・リハビリは大変そうだったよ。 ・家族が会いに来てくれないって寂しそうだったよ。	○ 「〇〇園」で気づいたことや考えたことを出しやすいように、写真や掲示物を工夫する。 (イ)
「〇〇園」のおじいちゃんやおばあちゃんに、自分たちは何ができるのだろうか。	
3 「〇〇園」の方に自分たちでできることはなにかを考える。 ・ぼくらは家族の変わりにはならないな…。 ・一緒に遊びたいな。 ・お話をいろいろ聞くことはできそうだな。	○ 自分の考えを相手に伝えやすいように共有の仕方を工夫する。 (イ) (ウ) ・話し合いが進むよう、各班にホワイトボードや情報カードを配付する。
4 本時の学習を振り返る。	○ 学習をふり返り、相手のことを考えながら生活していこうとする意欲を高める。

（4）評 価

・「〇〇園」で交流したおじいちゃんやおばあちゃんの願いや思いに共感することができたか。

【価値的・態度的側面】(イ)

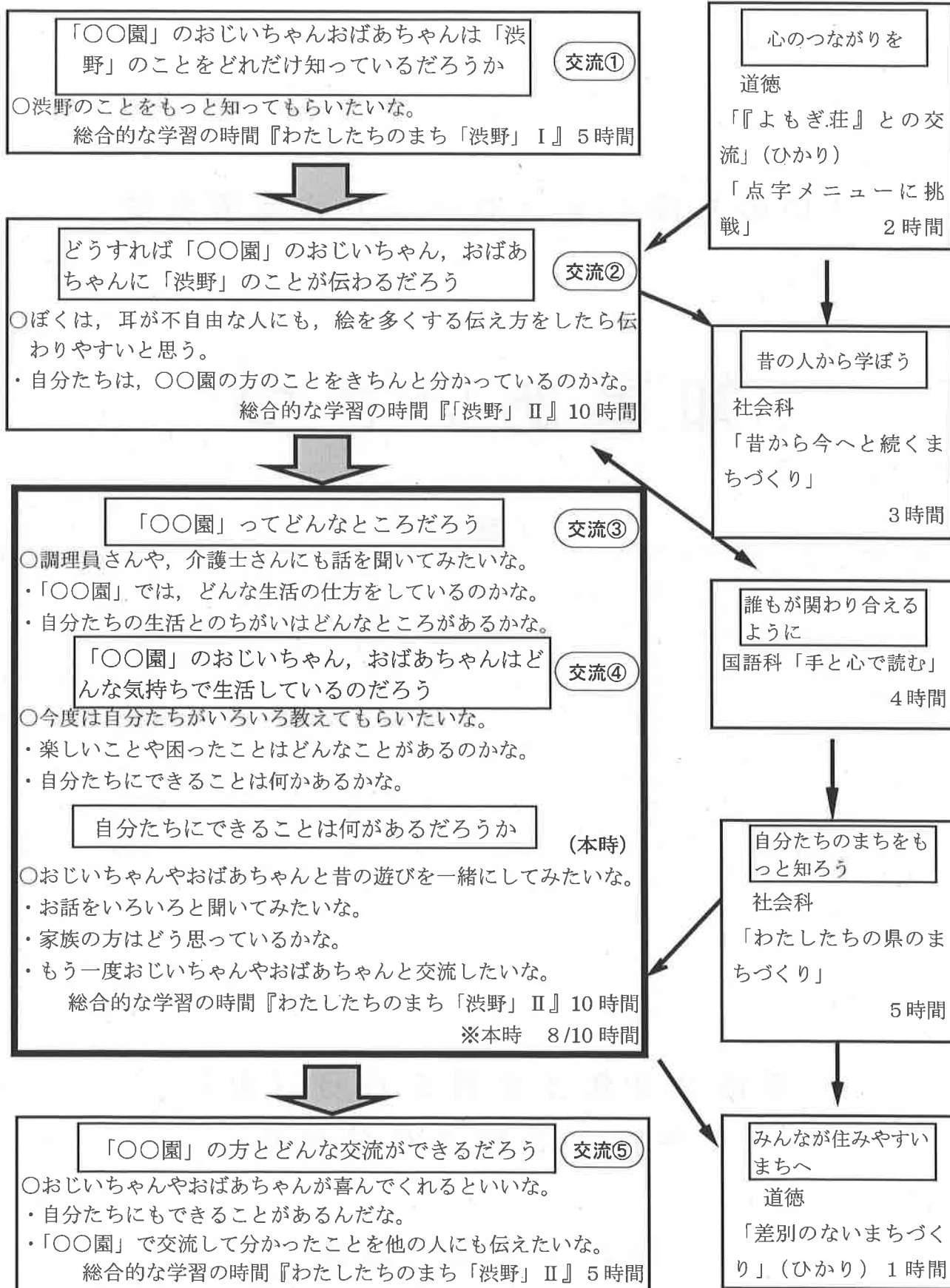
・友だちの意見を聞き、自分の考えとのちがいや重なりを感じたり、自分の考えを表現したりすることができたか。

【技能的側面】(ウ)

4 子どもの意識の流れと学習構成「考えよう！相手の気持ち」(45 時間)

【主題に関する人権学習】

【主題にかかわる教科等・行事】



※○は位置づけた子の予想される意識の流れ

第4学年 伝えよう わかり合おう それぞれの願い (8月改訂版)

[illegible]

○数字は授業時間数